

2014年12月5日

## 国内最大級の環境展示会『エコプロダクツ 2014』 セブン&アイ・ホールディングスが出展 ～身近なお店が目指す循環型社会を見に行こう！～

株式会社セブン&アイ・ホールディングス（以下、セブン&アイ、東京都千代田区、代表取締役社長：村田紀敏）は、12月11日（木）～13日（土）に東京ビッグサイトにて開催される国内最大級の環境展示会「エコプロダクツ 2014」（来場者見込み：17万5千人/入場：無料）に出展いたします（出展は2008年以降、今回で7回目となります）。

記

### 【出展ブースの概要】

地球上では、人口増加や生活の変化による自然資本の枯渇、生物多様性の損失等様々な環境問題に直面しています。地球の持続可能性を保ちながら、企業も持続的に成長するためにできること、それは「森林資源」「石油資源」「食料資源」の3つの循環です。

セブン&アイ・ホールディングスが目指す「循環型社会」について、小売ならではの最新の取組みと未来の展望についてステージパフォーマンスとパネル展示でご紹介します。



出展ブースイメージ（東京ビッグサイト 東6ホール）

### 1. 『メインシアター』

「循環型社会」をテーマに、グループの森林保全活動、店頭に設置したペットボトル自動回収機によるリサイクル、店舗で発生する食品残渣のリサイクル等、セブン&アイの最新の取組みをご紹介します。

### 2. 『展示による取組みの紹介』

#### ① 「食品リサイクルブース」

店舗で発生した残渣を工場で堆肥化し野菜作りの輪を広げる環境循環型農業「セブンファーム」の取組みや、次世代型リサイクルループの実現に向けた最新の取組み等をご紹介します。



食品リサイクルについて紹介するブース

② 「ペットボトルリサイクルブース」

使用済みのペットボトルが店頭設置のペットボトル自動回収機で破碎・圧縮され、工場プライベートブランド商品の容器や包材に生まれ変わる様子や、この取組みの拡充についてご紹介します。



使用済みペットボトルのリサイクルブース

③ 「自然教育ブース」

セブン&アイとセブン-イレブン記念財団が保全活動を行う「セブン&アイ森林プロジェクト」、都市部における大規模学習施設となる「高尾の森自然学校」のご紹介や地域と共生するグループの環境教育活動をご紹介します。



自然教育ブース

④ 「ボノロンのほこらブース」

森の環境保全活動の取組みやATMの省エネ対策・リサイクルの取組みをご紹介します。また、エコプロダクツでしか入手できないボノロンエコプロ特別号も配布。来場されるお子様に大人気の森の戦士「ボノロン」との写真撮影も行います。

※ボノロンとは、セブン銀行が発行・無料配布に協賛・協力している親子のコミュニケーションを応援するための読み聞かせ絵本『森の戦士ボノロン』のキャラクターです。



「ボノロン森の学校」ブース

「高尾の森自然学校」ブース



森の戦士「ボノロン」とのフォトブース

※各ブースイラスト等はイメージです。

以上